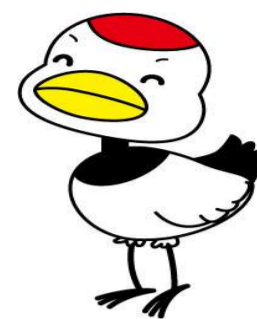





自主・自律・共生



◆目指す子どもの姿

 <p>自主</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分で考え、判断し、行動できる子ども ○自分の行動に責任を持てる子ども 	 <p>自律</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分で決めたことを、自分で守れる子ども ○自分の心や行動を自分でコントロールできる子ども 	 <p>共生</p> <ul style="list-style-type: none"> ○他者との違いを受け入れることのできる子ども ○他者と協働することができる子ども
--	---	--

◆目指す学校の姿

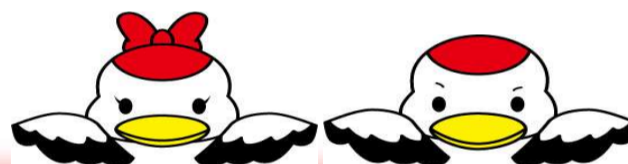
○すべての子どもに居場所がある学校

学校は、子どもの「自己肯定感」を育てる場所
 「自分も捨てたものでない」「自分にも何かできることがある」という気持ちを持たせる場所

○地域とともに歩む開かれた学校

◆目指す教職員の姿

- すべての子どもと繋がることのできる教職員
- 子どもを主役にできる教職員
- 他者と協働することのできる教職員



教職員の基本姿勢

- ★子どもを一人の人間として尊重する。教職員が教える人で上、子どもが教わる人で下ではない。
大人にしないことは、子どもにも絶対にしない。
- ★でも、子どもはできないもの、失敗するもの、大人の言うことをきかないものということを心に留める。
「ダメ」と思わない。大人だってできなかつたり、失敗したりする。
- ★6年間を通して育てる。
その学年だけで完成させようとしてはならない。そうすると無理が出る。
- ★全教職員で育てる
もし上手いかわからなくてもそのクラス、その担任だけの責任ではない。全ての教職員が一人の子どもの成長に責任を持つ。
- ★まずは教師が子どもと繋がる
まずは教師が子どもと繋がること。クラスを整えること、子ども同士の繋がりはその後。
子どもの心の安全・安心 → 外発的動機付け → 内発的動機付け
- ★学校の当たり前を見直す
学校運営理念・学校教育目標を最上位目標として「目的」は何かを常に振り返り軌道修正、スクラップ&ビルドする。
・行事 ・ルール ・宿題 ・職員の事務仕事 等